日本アロマ環境協会賞　　自分たちの出した生ごみが生まれ変わる。「ハーブのかほりを楽しむ街を目指して」

企画者　：　橋南まちづくり委員会（長野県飯田市）

評価点　：　生ごみの分別収集を通じて得られた堆肥を活用し、既存のキンモクセイとサツキとの調和を図りつつ、美しく、香りも楽しめ、クラフトなどの利用価値もあるラベンダーを植える。
平成 13 年にかおり風景 100 選の一つとして選定されたりんご並木と交差する全長 600m 幅 22m の通りの中央分離帯の街路樹の足もとにラベンダーを植えることで街をラベンダー色と香りで包み、中心市街地の活性化につなげる。

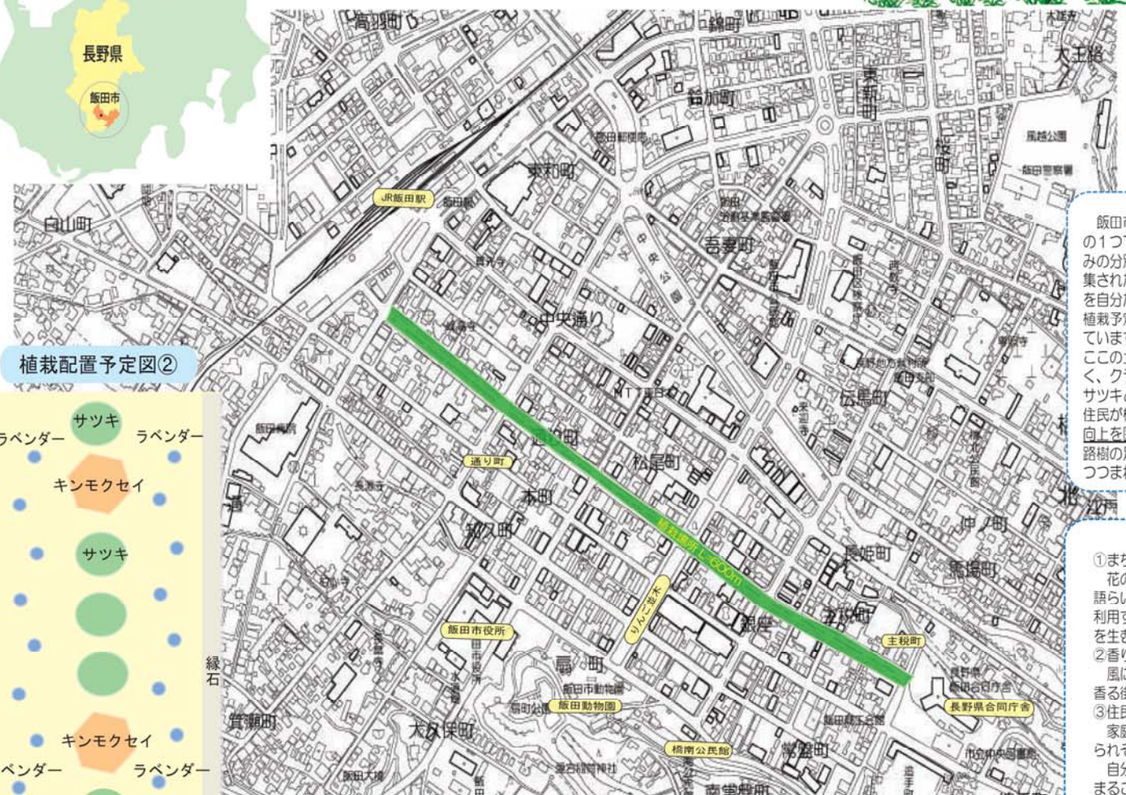
日本アロマ環境協会賞

自分たちの出した生ごみが生まれ変わる。

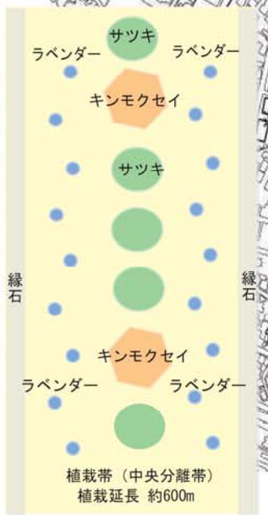
ハーブのかほりを楽しむ街を目指して

植栽配置予定図①

既存のキンモクセイとサツキを利用し、ラベンダーを植栽します。



植栽配置予定図②



使用する樹木

ラベンダー 2,000本

植栽予定　平成21年～平成25年

植栽後のイメージ

企画の目的

飯田市の中心市街地である橋南地区には、かおり風景100選の１つであるりんご並木があります。この橋南地区では、生ごみの分別収集が平成14年11月から行なわれています。分別収集された生ごみは、堆肥として商品化されています。この堆肥を自分たちの元へ循環し、活用させたいと考えました。現在、植栽予定地にはキンモクセイとその足もとにはサツキが植わっています。しかし、近年このサツキが著しく弱ってきたため、ここの土作りのためにその堆肥を利用し、香りも楽しめ、美しく、クラフトなどの利用価値もあるラベンダーを植え、既存のサツキと調和をはかりながら環境整備を行います。また、地域住民が植栽・維持管理することにより、地域コミュニティーの向上を図りたい。全長600m幅20mの通りの中央分離帯の街路樹の足もとにラベンダーを植え、街がラベンダー色と香りにつつまれることにより、中心市街地の活性化につなげる。

企画の効果

①まちづくりへの効果
花の時期には、花や香りを楽しむ人が中心市街地に集まり、語らいや賑わいを生み。また、いっしょに手入れや摘み取り利用するためのクラフト作り等で地域の人々の間につながりを生む。
②香り環境への効果
風に乗って香りが運ばれることで、街全体の雰囲気が雅に香る街へと期待する。
③住民への効果
家庭から出す生ごみを分別回収することにより、堆肥が作られそれを利用した土により香り豊かな街路へと還ってくる。
自分たちの努力が目に見えることにより環境への関心が高まることが期待できる。

香りのテーマ

詩人 岸田国士〈飯田の町に寄す〉に詠われている

飯田 美しき町 山近く 水にのぞみ 空明るく
風匂かなる町　この風の中に、 春は、
りんごの花が香り　初夏は**ラベンダー**が香り
秋には**キンモクセイ**が香り、たわわに実るりんごの香りがする。 何時も香りが溢れるまち。

現状写真

※キンモクセイ・サツキを利用しつつ現在の配置を整理して、ラベンダーを植栽

本事業の企画者

橋南まちづくり委員会

飯田市橋南地区の住民で組織する地域自治組織

世帯数　1,345戸
人口　3,169名

長野県飯田市扇町35（橋南公民館）
TEL 0265-24-0327